

「誠実で、キラリと光る、  
ナンバーワン＆オンリーワン」  
の東鉄工業を目指して



(当社本社より新宿方面を臨む)

2009年9月17日

**東鉄工業株式会社**

# 1. 会社概要

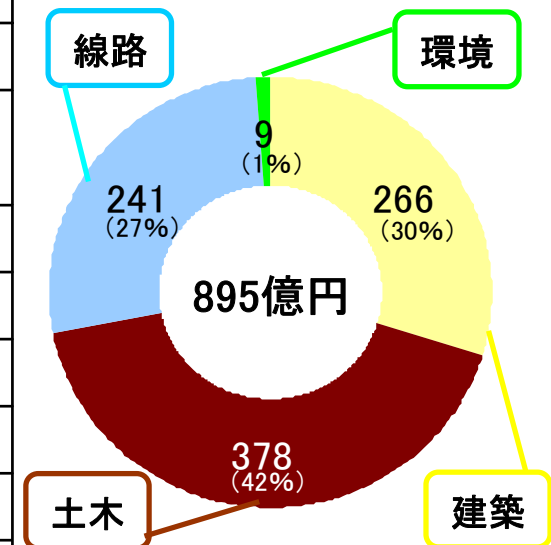
## (1) 会社概要 (平成21年3月31日現在)

### 鉄道関連工事の専門技術をコアコンピタンスとする総合建設業

会社名	東鉄工業株式会社 (TOTETSU KOGYO CO.,LTD)
設立年月日	昭和18年7月7日
本社所在地	東京都新宿区信濃町34番地 JR信濃町ビル4階
資本金	28億1,000万円
代表者	代表取締役社長 <small>おぐらまさひこ</small> 小倉雅彦
事業内容	建設事業・不動産事業・その他事業 (線路・土木・建築・環境等の各事業)
従業員数	1,598人(連結)
連結子会社	東鉄機工株式会社・東鉄メンテナンス工事株式会社 東鉄創建株式会社
上場市場/証券コード	東証1部/1835
業種	建設
売買単位	1,000株
発行済株式総数	36,100,000株
筆頭株主	東日本旅客鉄道株式会社(10.3%)
株主数	3,592名



本社



2009年3月期  
事業別売上高(連結)  
(単位:億円)

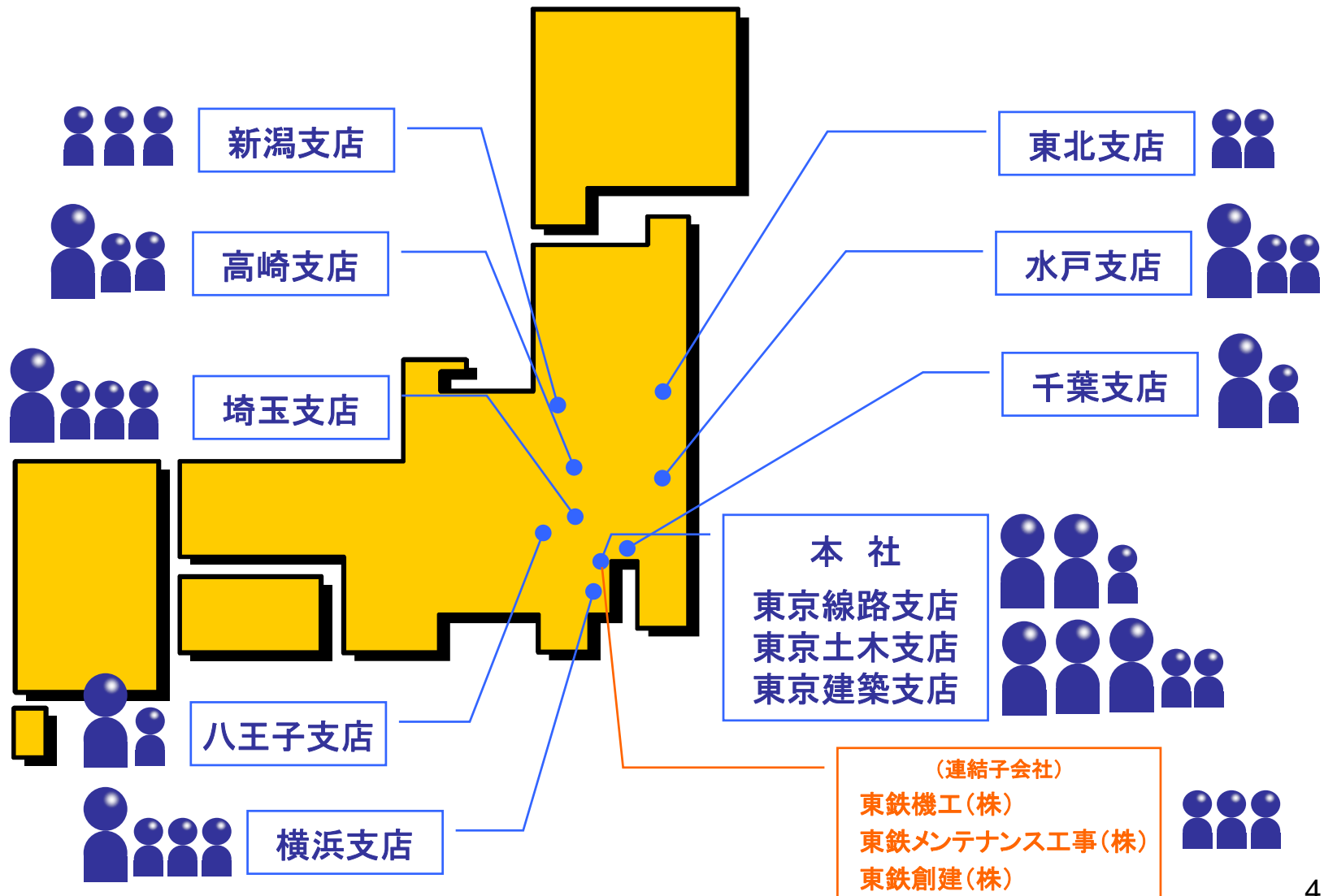
## (2) 沿革

## 設立以来66年の歴史

年	月	沿革
昭和18年	7月	「東京鐵道工業株式会社」設立 〔 鐵道の保持・強化を目的に、当時の鐵道省の要請により、關東地方の建設業者が 企業合同し、国策会社「東京鐵道工業株式会社」として、丸の内1丁目1番地に設立 〕
昭和24年	10月	建設業法により建設大臣登録(イ)第146号の登録を完了
昭和27年	7月	商号を「東鉄工業株式会社」に変更
昭和37年	11月	株式を東京証券取引所市場第二部に上場
昭和46年	10月	宅地建物取引業法により宅地建物取引業者として免許取得
昭和47年	10月	株式を東京証券取引所市場第一部に上場
昭和49年	3月	建設業法の改正により、建設大臣許可を受ける
平成16年	6月	環境関連事業を事業目的に追加
平成17年	10月	子会社を東鉄機工株式会社、東鉄メンテナンス工事株式会社、 東鉄創建株式会社の3社に再編
平成19年	1月	アスベスト除去の特許専用実施権を有する新会社を共同出資により設立

## (3) 事業所一覽

東日本地域を中心とした強力な地盤



## (4) 経営理念・事業ビジョン

### 経営理念

～安全はすべてに優先する～

当社は、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業として、安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献いたします。

### 事業ビジョン

- ・鉄道関連工事のリーディングカンパニーとして、
- ・その高い専門的技術力と、安定した受注の強みを活かし、
- ・線路・土木・建築・環境各事業のバランスの取れた事業構造のもと、
- ・専門プロ集団として、建設業界に独自の地歩を確保してまいります。

## 2. 事業内容

### (1) 各事業の特徴

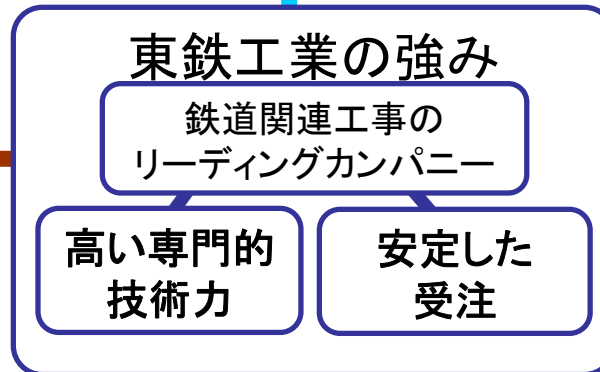
「鉄道」を軸に、相互に補完しあう4つの事業部門

鉄道線路メンテナンスシェアNo.1

大型保線機械保有台数No.1



「東鉄<sup>エコ</sup>ECO<sub>2</sub>プロジェクト」を強力推進  
他部門とのシナジーを活かした事業展開



鉄道土木関連特殊工法  
耐震補強の実績が豊富



鉄道近接建物に強み  
駅関連施設施工多数

## 2. 事業内容

### (2) 線路事業

#### ① 施工例



レール削正車(新幹線用)

東北・上越・長野新幹線全線のレール削正(レールの長寿命化、振動・騒音の軽減のためにレール表面を削る)工事を施工。また、新たに在来線も首都圏100km圏内を施工開始



マルチプルタイタンパー

各地の出張所を拠点に道床(路盤と枕木の間に使われる砕石)のつき固め工事を施工



東北新幹線八戸・新青森間軌道工事  
青森延伸区間の内、32kmの軌道工事を施工

09/3期末現在

大型保線機械	台数
マルチプルタイタンパー	16
バラストレギュレーター	12
軌道モーターカー	40
ロータリーモーターカー	14
レール削正車	13
新幹線確認車	5
トラックライナー	2
オートパワーレンチ	2
マルチトコ	35



線路切換前



線路切換後

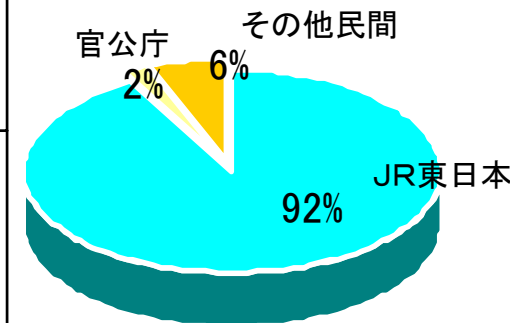
中央線国立付近線路切換工事  
中央線三鷹・立川間連続立体交差化に伴う弾性バラスト軌道(軌道変位を抑制し、振動・騒音を軽減する軌道)新設工事を施工

## 2. 事業内容

### (2) 線路事業

#### ② 軌道メンテナンス工事 & 高性能な大型保線機械の稼働力において、 質・量ともに我国ナンバーワン

<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道線路メンテナンス工事(新幹線・在来線)</li> <li>・機械保線工事(新幹線・在来線)</li> <li>・軌道新設工事(新幹線・地下鉄等)</li> <li>・省力化軌道敷設工事</li> <li>・特殊軌道敷設工事</li> <li>・海外技術支援 等々</li> </ul>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で品質の高い線路メンテナンスの施工</li> <li>・JR東日本管内最大の鉄道線路メンテナンス会社</li> <li>・高性能な大型保線機械の稼働力で国内No.1</li> <li>・新型レール削正車による高度な削正技術</li> <li>・首都圏プロジェクト・整備新幹線工事の施工実績豊富</li> <li>・大規模線路切換工事の高い施工技術力と豊富な施工実績</li> <li>・肌理細かい出張所(24ヶ所)・協力会社(32社)配置</li> <li>・環境に配慮した機械・機器の開発と施工方法の検討</li> </ul>
<p>顧客</p>	<p>JR東日本、鉄道・運輸機構、公共鉄道、民間鉄道 他</p>
<p>子会社</p>	<p>東鉄機工株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノレールの軌道・工作車保守関連業務</li> <li>・保線用機械の製造、販売、保守、管理業務等</li> </ul>



顧客別売上高構成比  
(09/3期)

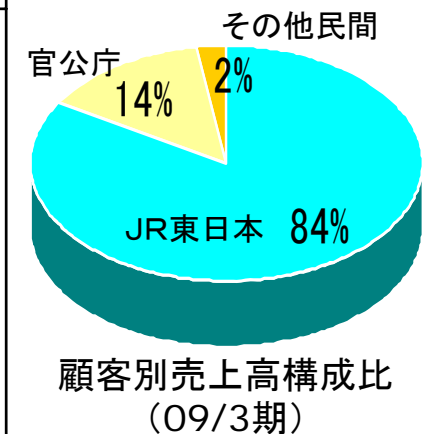


## 2. 事業内容

### (3) 土木事業

#### ② 鉄道土木工事、耐震補強等に強み

<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道土木工事 (立体交差、防災、耐震補強、バリアフリー、橋梁改良、構造物修繕等)</li> <li>・道路敷設、河川改良、トンネル掘削工事 等々</li> </ul>
<b>特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>防災・耐震補強工事の豊富な施工実績</b> (耐震補強、防風対策、駅構内のバリアフリー工事等)</li> <li>・<b>首都圏を中心とした鉄道メンテナンス工事の施工による鉄道の安全・安定輸送への貢献</b> (ホームドア、トンネル耐震、鉄道高架橋工事等)</li> <li>・<b>線路下横断工事等立体交差工事の高い施工技術力と豊富な施工実績</b></li> <li>・<b>鉄道専門技術を活かした技術提案及び新工法を開発</b> (狭隘部掘削・排土システム、薄板多層巻耐震補強工法等)</li> </ul>
<b>顧客</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東日本、官公庁、鉄道・運輸機構他</li> </ul>
<b>子会社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東鉄メンテナンス工事株式会社</li> <li>・主に首都圏の24時間体制での土木構造物修繕工事等を施工</li> </ul>



### (3) 土木事業

#### ① 施工例



被災直後

新潟県中越地震復興

新潟県中越地震の発生の際には、線路事業部門、土木事業部門が協力しあい、速やかに対応、早期復旧に貢献



復旧後



上越新幹線赤谷川橋りょう橋脚  
耐震補強工事

山間部の高橋脚耐震補強工事において、「昇降式足場」の使用により、「作業効率の向上」「高い安全性」を確保



伊勢崎街道こ道橋

JR上越線・信越線と国道354号が交差する伊勢崎街道踏切を立体交差化することにより、地域の重要路線の渋滞解消に貢献



東北新幹線トンネル耐震対策工事

平成16年10月に発生した新潟県中越地震で新幹線トンネル内の崩落などの被害を防止するため、大型機械を導入し、東北新幹線の蔵王トンネルの耐震補強工事を施工



東北本線と野・さいたま新都心間新都心大橋  
さいたま新都心周辺道路網整備の一環でJR線(11線)の上空を渡るこ線橋の架け替え工事を施工  
(平成20年度土木学会田中賞を受賞)



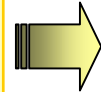
### (4) 建築事業

#### ① 施工例



田端駅(旧駅舎)

田端駅(コスモスプラン)改良工事  
JR東日本の首都圏のターミナル駅を中心に、人工地盤の建設などの大規模工事によって、事業スペースの創出を図る「コスモスプラン」による駅空間の有効活用



田端駅(新駅舎)



常磐線日立駅橋上化及び東西自由通路新設工事  
現在の中央口駅舎の水戸方に、動く歩道・エレベーター3基・エスカレーター4基の設置等を行う駅、自由通路等の新築に着手  
(平成23年春頃完成予定)



ザ・ライオンズたまプラーザ美しが丘新築工事  
国土交通省が決定する超長期住宅先導的モデル事業に採択された工事を施工  
(平成22年3月完成予定)



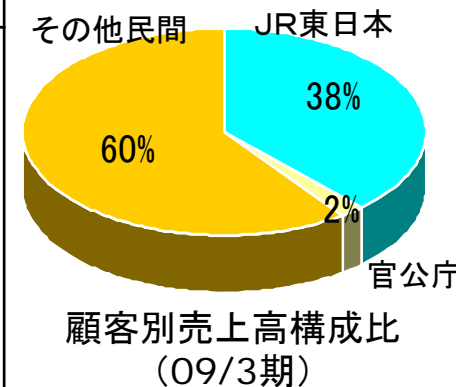
埼玉県戸田市立新曾北小学校  
アスベスト除去及び耐震補強工事  
アスベスト除去と耐震補強を同時に短期間で仕上げ、高い評価を取得。  
「ワンストップショッピング戦略」が奏功した事例

## 2. 事業内容

### (4) 建築事業

#### ② 得意とする駅関連・住宅(マンション)部門を足場に、 リニューアル・非住宅市場へ拡大

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅関連施設工事(駅ビル、駅舎、バリアフリー 等々)</li> <li>・新築工事(マンション、店舗、事務所、工場、福祉施設、学校 等々)</li> <li>・リニューアル・耐震補強工事(マンション、駅ビル、オフィスビル 等々)</li> <li>・環境関連工事 (アスベスト除去、省エネ、屋上・外壁緑化、建物断熱 等々)</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅関連、営業線近接工事に強い</li> <li>・マンション・店舗・工場等の施工実績多数</li> <li>・耐震補強関連業務(駅ビル・事務所 等々)</li> <li>・リニューアル／環境関連工事の受注拡大</li> <li>・「一気通貫戦略」「川上⇒川下戦略」を推進 (診断→提案→設計→施工→メンテナンス)</li> <li>・「ワンストップショッピング戦略」による営業力の強化</li> </ul>
顧客	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道関係施設: JR東日本グループ 等々</li> <li>・店舗: カワチ薬品 等々</li> <li>・マンション: 大手デベロッパー</li> </ul>
子会社	<p>東鉄創建株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築工事及び関連業務</li> <li>・維持補修、改修、耐震補強等のリフォーム・リニューアル事業</li> </ul>



### (5) 環境事業

#### ① 施工例

##### ・アスベスト除去事業



施工前



ドライアイスプラストによる除去

当社の得意工法である「オリент21アスベスト除去工法」は、  
周辺環境・作業環境の安全性向上とドライアイスプラストによる  
完全除去が可能



施工後

##### ・緑化事業



苔栽培圃場(千葉県香取市)

「苔緑化システム」のトータルプランナーを  
目指し、生産・加工・販売・施工の一貫体制を  
構築するため千葉県、山形県に10,000㎡の  
圃場を確保し、自社生産を開始



施工前



施工後

東京モノレール昭和島基地内施設区棟屋根緑化工事  
温暖化抑制効果や省エネ効果等の機能に優れた苔緑化  
工事を施工

### (5) 環境事業

#### ② 地球環境改善に貢献する事業部門として第4の柱に育成中

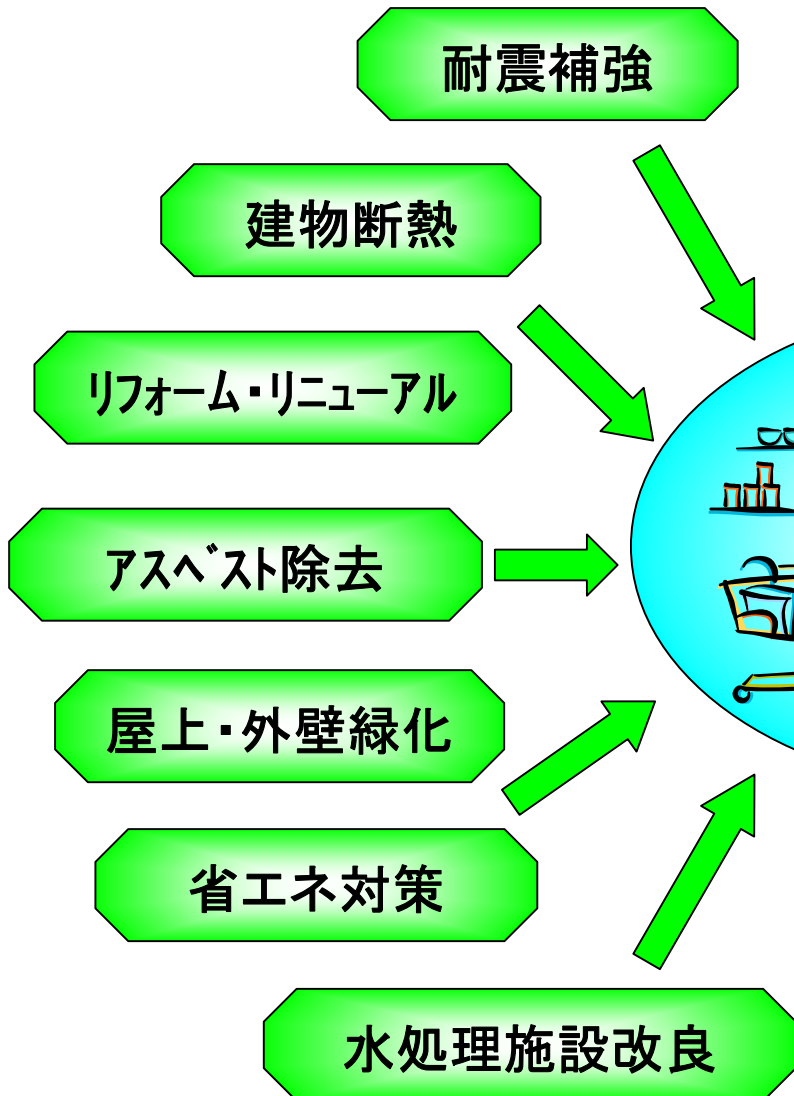
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスベスト除去事業 (「オリエント21アスベスト除去工法」によるアスベスト除去)</li> <li>・水処理施設の改良事業 (処理水の再利用化、汚泥減量化、省エネ 等々)</li> <li>・緑化事業(苔植物を利用した緑化事業を推進)</li> <li>・省エネビジネス (空調機のエネルギー効率改善用追設コンデンサーの販売)</li> <li>・その他事業     砕石リサイクル施設(品川RCセンター)の運営     LRT(トランスロール)の試験</li> </ul>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性(作業面・周辺環境)・確実性(ほぼ完全除去)・工期短縮を実現した「オリエント21アスベスト除去工法」</li> <li>・節水、汚泥減量化、節電効果により大幅なコストダウンと環境負荷の低減を実現</li> <li>・苔の自社生産、自社工法(トモス・エムエフシステム)など多様なバリエーションにより超軽量・メンテナンスフリー・低コストを実現</li> <li>・当社オリジナル商品「アドコン」による空調・冷蔵・冷凍設備の大幅な節電・CO<sub>2</sub>削減</li> </ul>
<p>顧客</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR東日本グループ、各種製造工場、オフィスビル、公共・商業・宿泊施設、店舗、病院、公共・民間水処理施設 等々</li> </ul>



次世代型路面電車「LRT」  
(トランスロール)

## 2. 事業内容

「ワンストップショッピング戦略」



「一気通貫戦略」

「川上⇒川下戦略」



### 3. 業績の推移

#### (1) 09/3期 決算概要(連結)

(百万円)

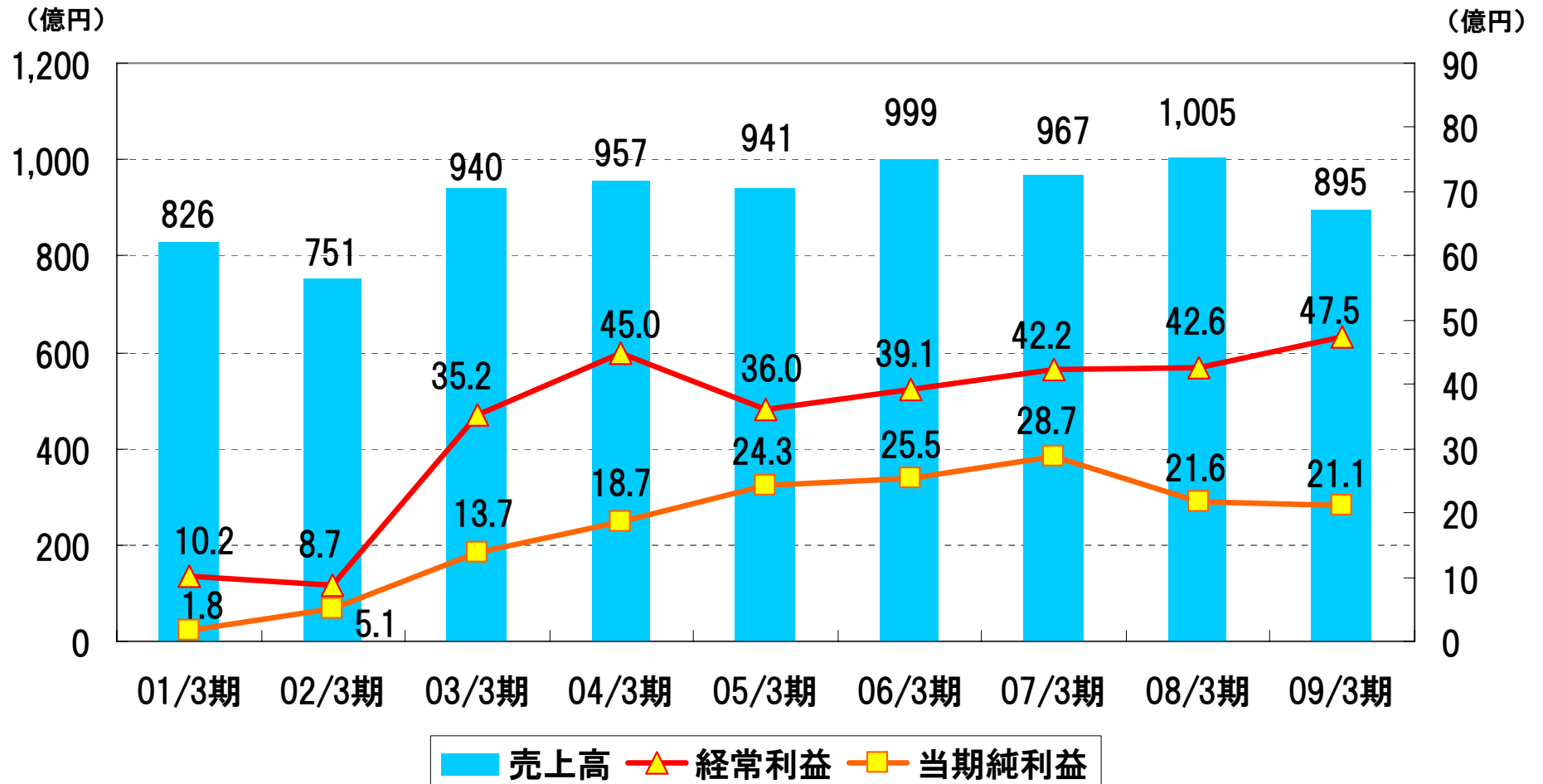
	08/3期	構成比	09/3期	構成比	08/3期比		
					増減額	増減率	
受注高	91,121	-	80,109	-	△11,012	(△12.1%)	減収
売上高	100,543	(100.0%)	89,551	(100.0%)	△10,992	(△10.9%)	
売上総利益	9,961	(9.9%)	10,709	(12.0%)	747	(7.5%)	増益
営業利益	4,181	(4.2%)	4,537	(5.1%)	355	(8.5%)	
経常利益	4,260	(4.2%)	4,752	(5.3%)	491	(11.5%)	微減横ばい
当期純利益	2,169	(2.2%)	2,110	(2.4%)	△58	(△2.7%)	

- **受注高**は、土木部門が鉄道大型工事の受注により増加したものの、建築部門は、選別受注の徹底によるマンション工事等の減少により大幅減少。また、線路部門も若干減少。
- **売上高**は、不採算工事の排除を目的とした、戦略的な選別受注の徹底などによるマンション建設工事の受注減、及び土木部門等の前期繰越高減少等もあり、減少。
- **売上総利益**は、原価管理の強化、及び不採算工事の徹底排除などにより、増加。
- **営業利益**は、貸倒引当金繰入額を計上したものの、増加。
- **経常利益**は、金融収支の黒字化もあり、増加。
- **当期純利益**は、貸倒引当金繰入額や投資有価証券評価損を特別損失に計上したことなどにより、微減横ばい。



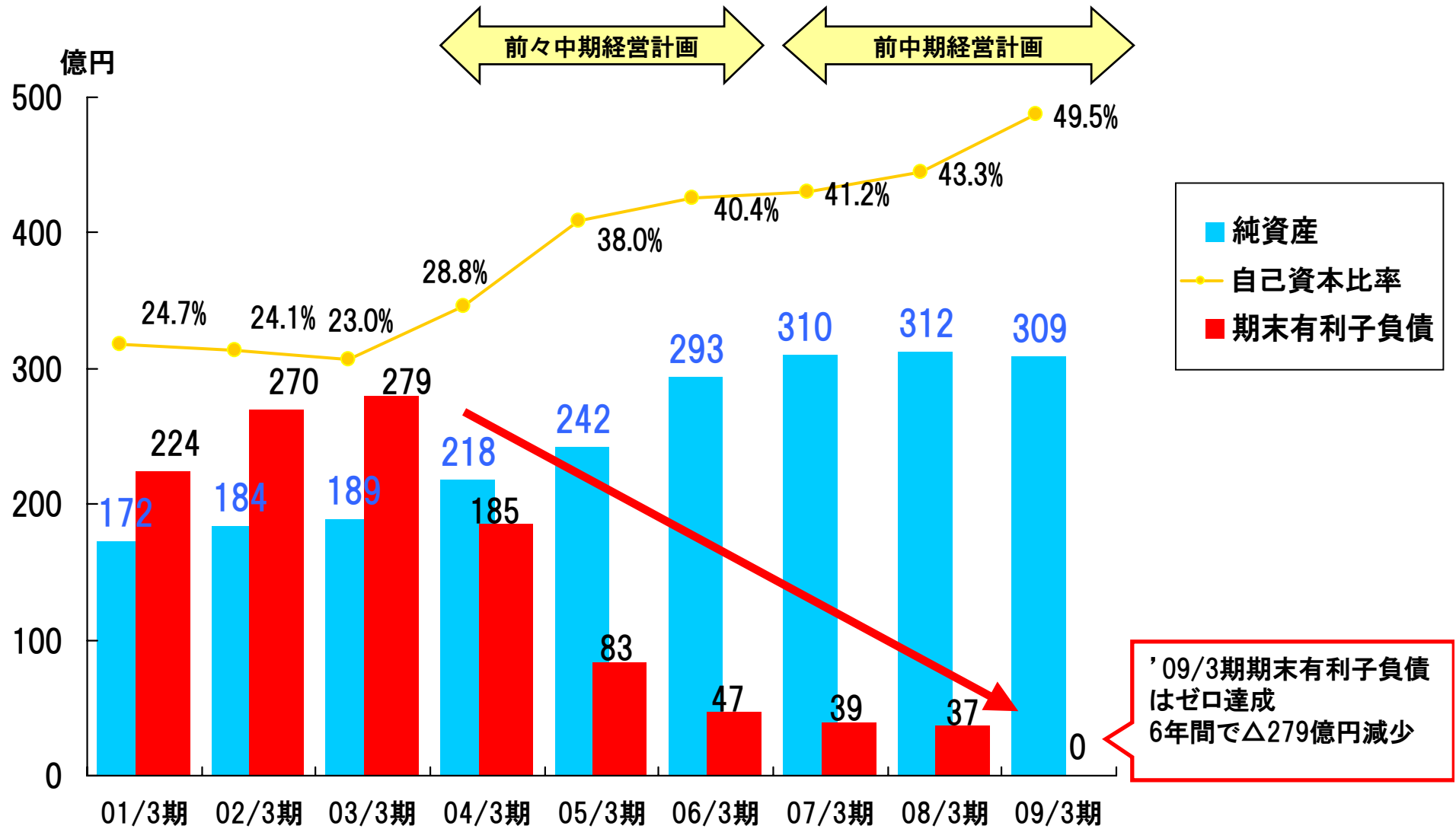
## (2) 業績推移(連結)

着実に経常利益を増加中



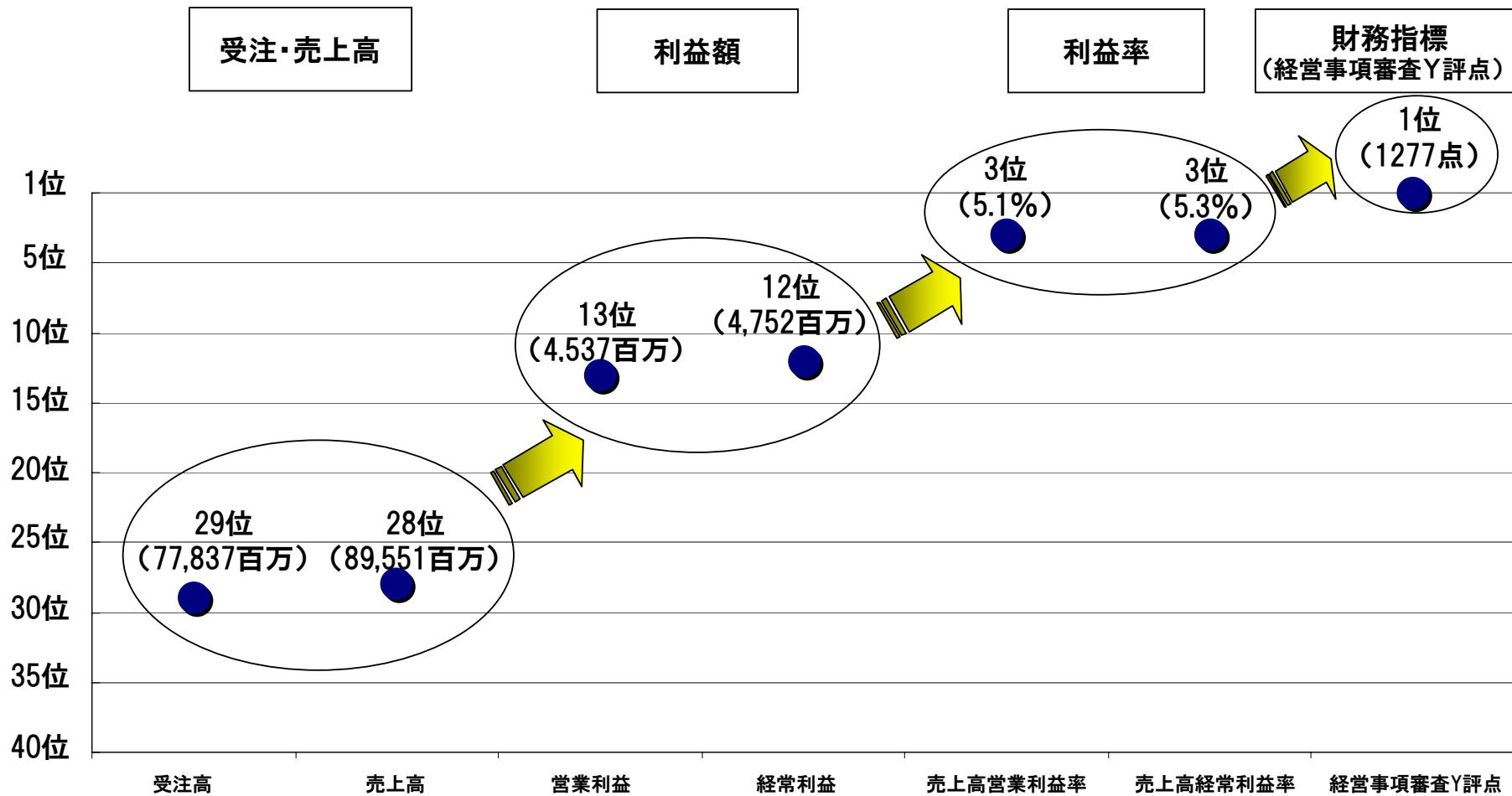
### 3. 業績の推移

#### (3) 純資産推移(連結)



### 3. 業績の推移

#### (4) 経営指標当社業界順位(連結)



注1:建設経済研究所による主要建設会社決算分析38社を対象

注2:受注高は単体を集計、上記数値及び順位については一部推定によるものも含む

注3:出典:決算短信、有価証券報告書

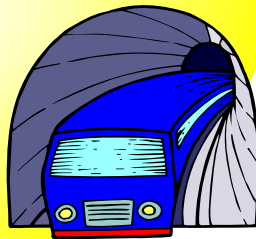
注4:経営事項審査Y評点は、2009年3月期時点での直近決算数値より試算。  
 (経営事項審査Y評点とは、公共工事の入札に参加する建設業者の経営状況を、国土交通省が定めた基準により表す指標)

## (1) 中長期的環境

### 当社をとりまく中長期的環境

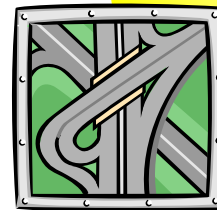
#### 【線路部門】

鉄道メンテナンス工事は堅調に推移するものと予想。高品質、かつ環境への配慮に対する要請はますます増大。



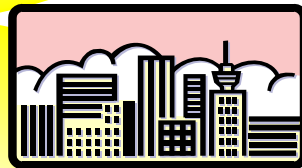
#### 【土木部門】

官公庁工事は、中長期的には減少傾向。補正予算の動向に注視。鉄道関連工事は安全投資、設備強化関連工事、環境対策投資などを中心に堅調に推移するものと予想。



#### 【建築部門】

新築分譲マンション市場は先行き不透明であるが、鉄道関係をはじめとした非住宅分野、リニューアル／メンテナンス分野に拡大余地。



#### 【環境部門】

地球温暖化に対するCO<sub>2</sub>削減や、様々な環境保全対策が重要視され、環境事業市場は拡大を予想。



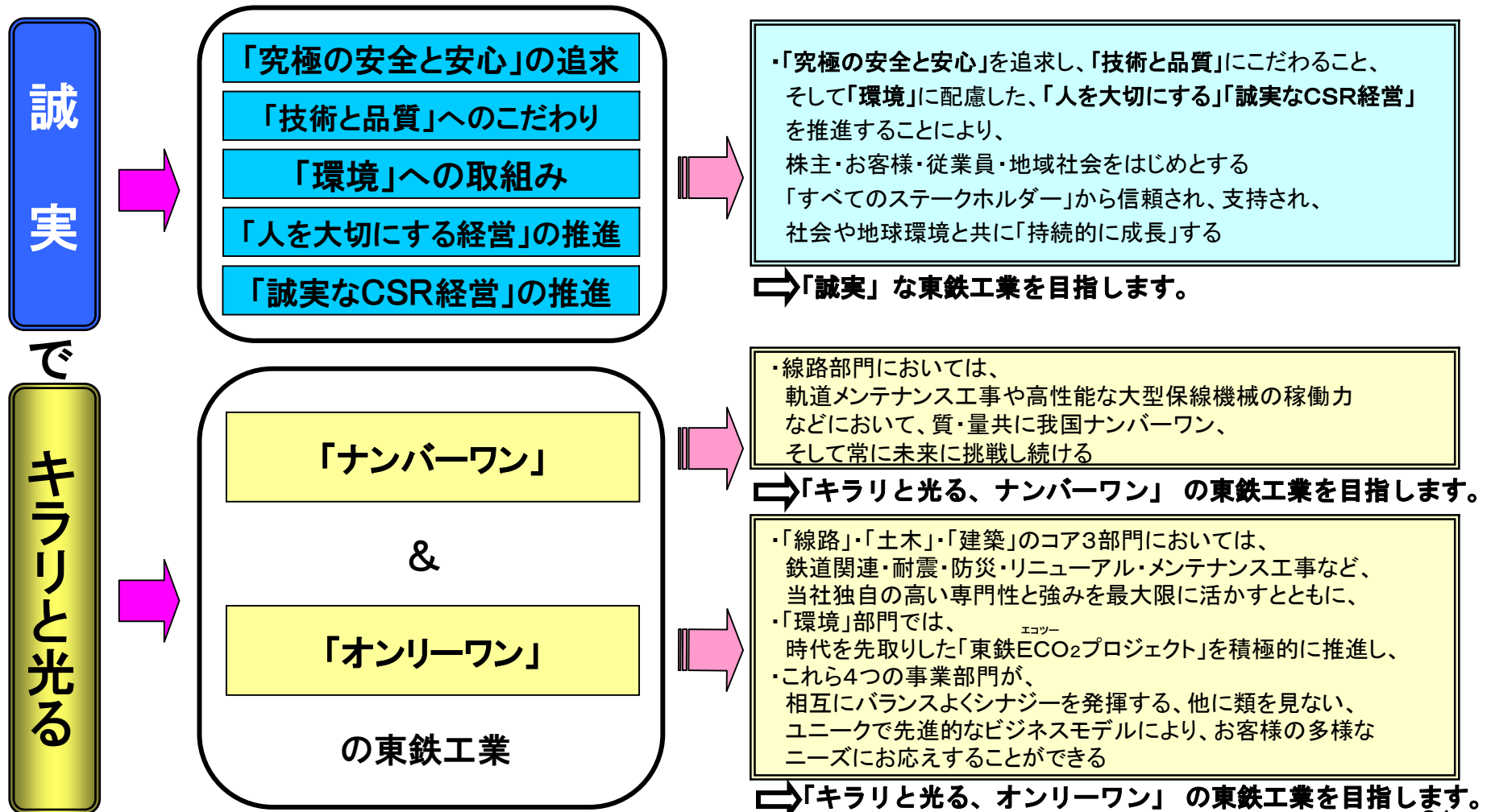
# 4. 中期経営計画

(2009.4～2012.3)

## (2) 基本テーマ

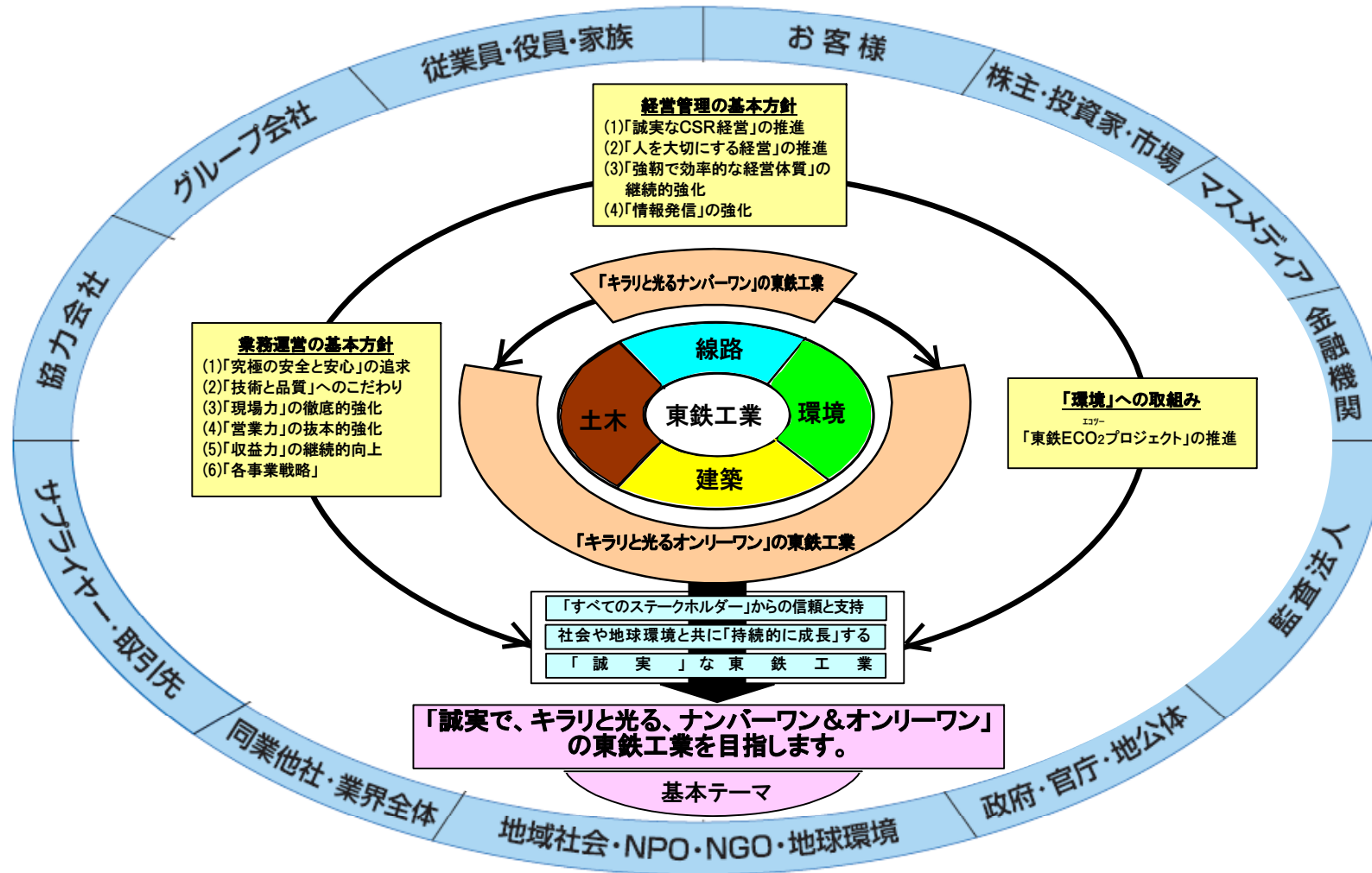
基本テーマ

**「誠実で、キラリと光る、ナンバーワン&オンリーワン」  
の東鉄工業を目指します。**



# 4. 中期経営計画 (2009.4~2012.3)

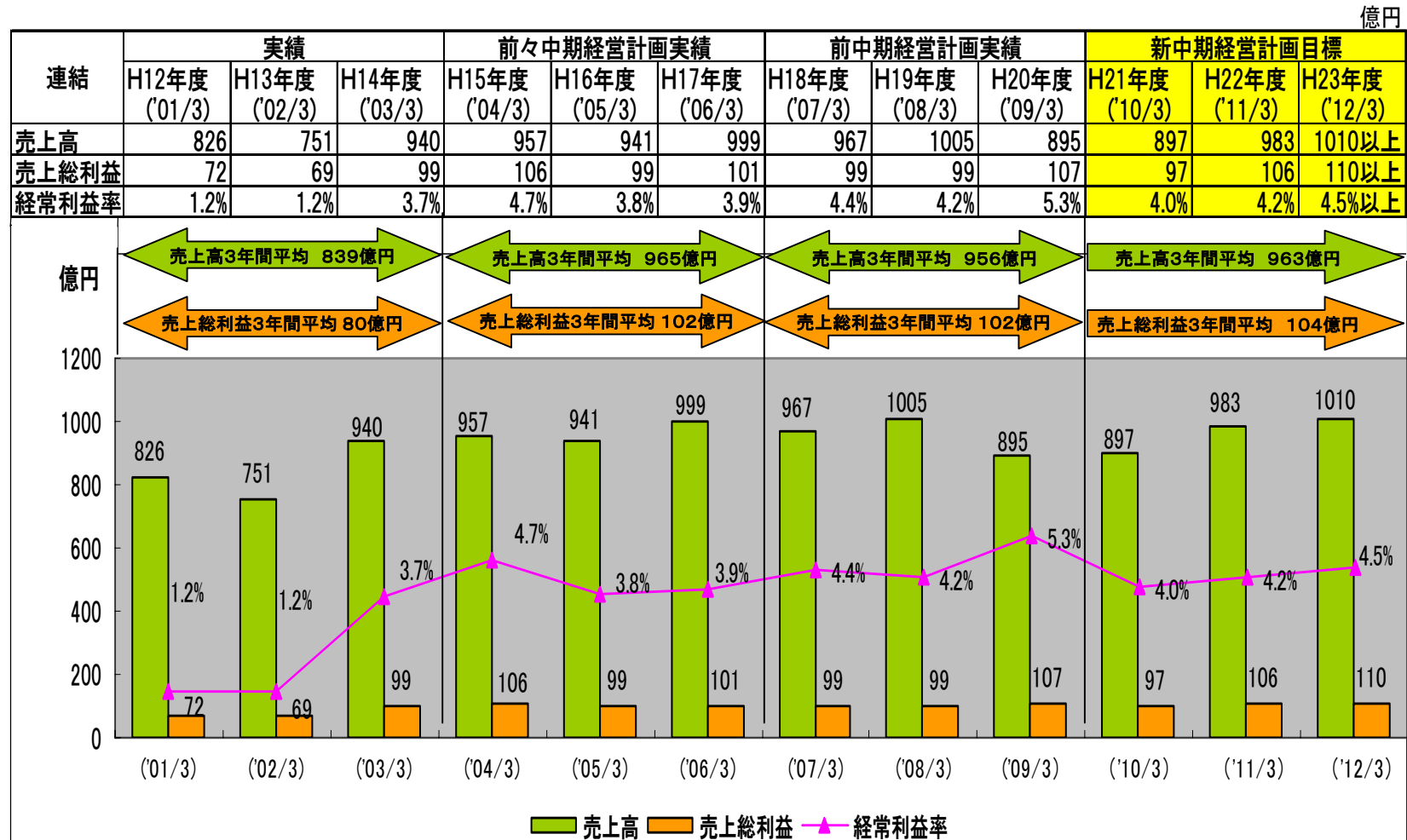
## (3) イメージ図・数値目標



【連結】	売上高	売上総利益	経常利益率
'12/3目標	1010億円以上	110億円以上	4.5%以上

# 4. 中期経営計画 (2009.4~2012.3)

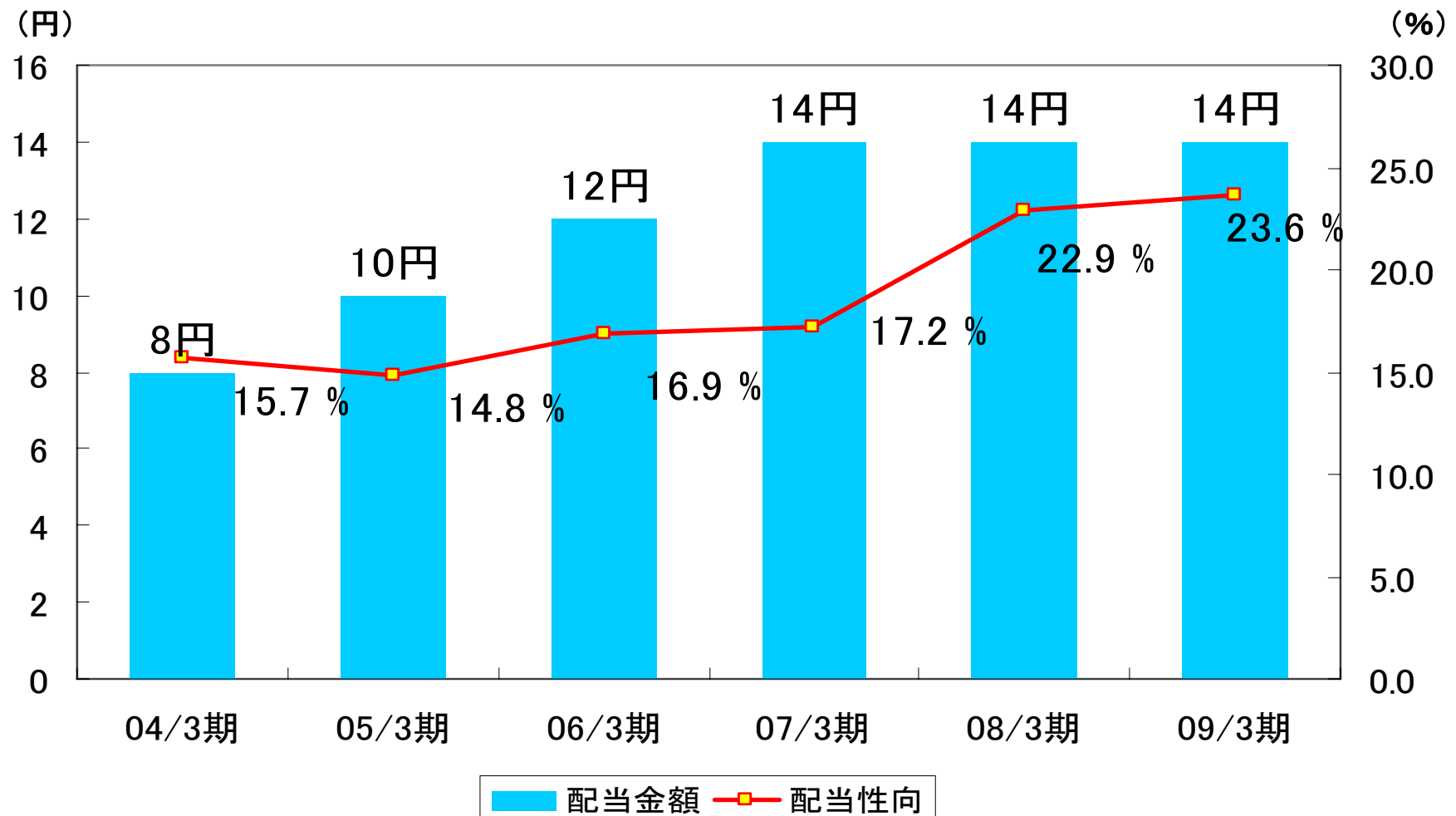
## (4) 中期経営計画数値目標



## (1) 配当実績の推移

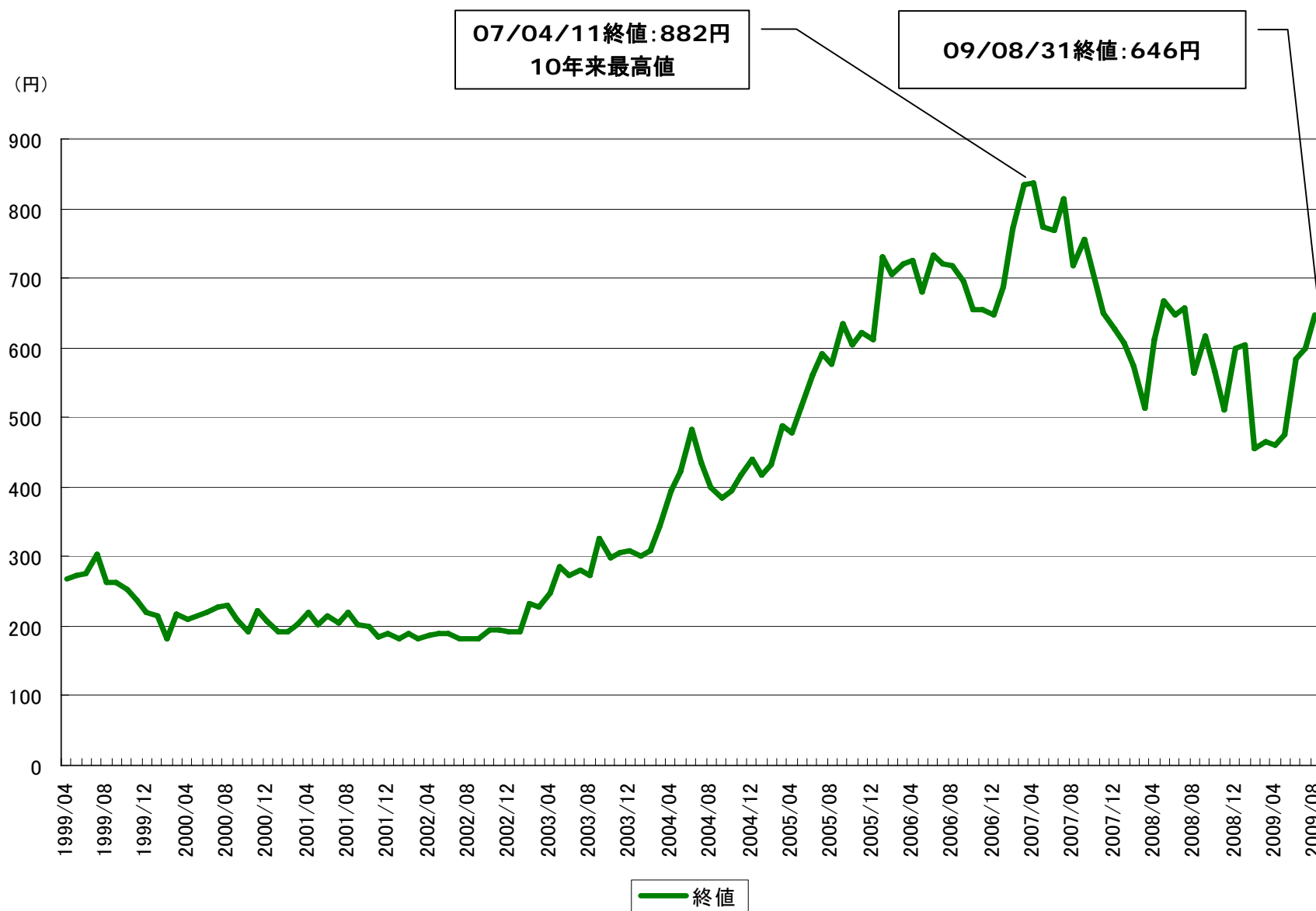
### 配当方針


当社は、株主の皆様へ安定的な配当を継続するとともに、株主資本の充実や設備投資に備えた内部留保を行いつつ、収益に対応した期末配当として年1回の剰余金の配当を行っております。





## (2) 株価の推移





本日はご清聴ありがとうございました。

お問合せ先:

東鉄工業株式会社 経営企画本部 広報・IR部

TEL: 03-5369-7611

ホームページURL : <http://www.totetsu.co.jp>

免責事項

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。